

(様式1)

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

平成30年6月29日

①事業者名	株式会社 学研アソシエ					
②測定ツール名	基礎力測定診断 ベーシックコース					
③主な対象者	中学校の学習内容を含めて基礎学力の定着度合いを確認したい高校1～3年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○		○	
⑥申請する測定ツールの目的・概要	基礎学力の定着度合いを診断することを目的として、中学校の学習内容を含めて基礎学力の定着度合いを確認したい高校1～3年生を主な対象とする					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	事前学習【ワークブック】→テスト(測定)→学力分析【先生用資料、特別分析資料、個人成績表】→フォロー【フォローアップテスト】					
⑧実施期間、年間実施回数	1年生:第1回 平成31年4月実施開始予定、平成31年1月から受検申込み開始予定 2年生:第1(4)回 平成32年4月実施開始予定、平成32年1月から受検申込み開始予定 3年生:第1(7)回 平成33年4月実施開始予定、平成33年1月から受検申込み開始予定 1・2年生年間3回、3年生年間2回					
⑨実施方式(CBT/PBT)	PBT *CBTに関しては研究中。					
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語			
	50	50	50			
⑪受検料	各回1,700円(消費税込み)※ワークブック、フォローアップテスト含む ワークブック、フォローアップテストにつきましては、学校での採点になります。					
⑫標準返却期間	答案到着から2～3週間					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://www.gakuryoku.gakken.co.jp/					

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

- 国語の基礎学力の定着度合いを診断することを目的として、中学校「国語」の学習内容を含めて基礎学力の定着度合いを確認したい高校1年生・2年生・3年生を主な対象とし、国語の「書くこと」に関する力、「読むこと」に関する力を測定します。
- 出題範囲は中学校「国語」の学習内容と高等学校「国語」の「国語総合」とし、学習指導要領に対応した問題を出題します。
- 診断は8セットの内容で実施されます。第1回では中学校「国語」の学習内容が5割程度ですが、徐々に「国語総合」の学習内容の割合が多くなり、第8回では「国語総合」が9割程度出題されます。受検時期は各学校の学習進度に合わせて選択いただけます。
- 出題形式は選択式・短答式・記述式を組み合わせたものとし、主として知識・技能を問う問題に加え、主としてこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題します。後者のうち「書くこと」については、20字～30字程度の記述式問題及び40字～60字程度の記述式問題を出題します。
- 実施方式は、PBTです。

(2)構成等

①出題形式

- ・選択式、短答式、記述式のバランス…選択式5割、短答式3割、記述式2割を想定しています。

②出題範囲

- <第1回(受検時期の目安:高1、4～7月頃)>
 - ・中学校「国語」の学習内容5割程度、「国語総合」の学習内容5割程度
- <第2回(受検時期の目安:高1、9～12月頃)>
 - ・中学校「国語」の学習内容5割程度、「国語総合」の学習内容5割程度
- <第3回(受検時期の目安:高1、1～3月頃)>
 - ・中学校「国語」の学習内容3割程度、「国語総合」の学習内容7割程度
- <第4回(受検時期の目安:高2、4～7月頃)>
 - ・中学校「国語」の学習内容3割程度、「国語総合」の学習内容7割程度
- <第5回(受検時期の目安:高2、9～12月頃)>
 - ・中学校「国語」の学習内容2割程度、「国語総合」の学習内容8割程度
- <第6回(受検時期の目安:高2、1～3月頃)>
 - ・中学校「国語」の学習内容2割程度、「国語総合」の学習内容8割程度
- <第7回(受検時期の目安:高3、4～7月頃)>
 - ・中学校「国語」の学習内容1割程度、「国語総合」の学習内容9割程度
- <第8回(受検時期の目安:高3、9～12月頃)>

・中学校「国語」の学習内容 1 割程度、「国語総合」の学習内容 9 割程度

(3) 難易度設定の考え方・方法

○過去問を基に作成しているため、過去に実施された際の正答率・得点率を考慮し、各問題項目の難易度を設定しています。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- 日常的に触れる機会の多い素材を用いた問題作成も心がけます。
- CBT 方式での動画や音声を用いて興味・関心を引き出す問題作成も研究対象としています。
- 進学後の学修や就職後の社会生活の場面を意識させる問題設定も心がけます。
- 義務教育レベルの問題から高校レベルの問題の体系的な出題を心がけます。

(5) その他特長

○基本事項を確認する「知識・技能」問題から、記述式の「思考力・判断力・表現力」問題まで、小問単位できめ細かい学力分析ができます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

個人成績表として用紙(B 4)で提供。テスト実施校へ一括して送付。

【テストデータ】

受検科目・型の得点、校内平均点、校内偏差値、校内順位、全国平均点、全国偏差値、到達度ライン(グラフ)

【各教科分析】

受検科目の分野(領域)ごとの配点、得点、評価、全国平均点、校内平均点、到達度ライン(グラフ)、アドバイス(ワークの該当ページを表示)

※評価については、得点率により、A～E で評価する 評価の内容は、右の通り A:基準に到達、B:基準にほぼ到達、C:およそ到達、D:この領域に問題あり、E:学力不足

【成績の推移】

過去に受検した回の科目・3教科型の得点、校内順位、偏差値、到達度ライン(グラフ)の推移表

【学力要素の評価】

国語・数学・英語の「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」をABCで評価

【英語4技能の評価】

「読む・書く・聞く・話す」をABCで評価

※「学力要素の評価」と「英語4技能の評価」の評価については、得点率により、A～Cで評価する 評価の内容は、右の通り A:基準に到達、B:およそ到達、C:この領域に問題あり

【小問分析と各教科分析と学習アドバイス】

受検科目の小問ごとの正誤と校内正答率、全国正答率。正答率に応じた具体的なアドバイス

※裏面

【学習状況】

「学習状況リサーチ」により調査した生徒の学力姿勢を表記。

【解答用紙データ】

受検科目のスキャンデータ画像

(2) 学校等への結果提供内容・方法

「先生用資料」

〈データA 校内集計：成績一覧〉

【総合成績一覧】

受検科目・国数英型・国英型・数英型の配点、校内平均点、人数、全国偏差値、前回比較、全国平均点、到達度ライン

【大問得点】

受検科目の大問ごとの配点、人数、校内平均点、全国平均点、到達度評価(分布・グラフ)、到達度ライン

【クラス別得点表】

受検科目・国数英型・国英型・数英型のクラスごとの平均点

【領域別平均正答率】

国語・数学・英語の領域ごとの正答率

【観点別平均正答率】

国語・数学・英語の観点ごとの正答率

【小問別正答率】

小問ごとの校内正答率と全国正答率の比較

<データB 型別集計：国数英>

【成績推移】

今回と過回の配点合計、平均点、人数、全国偏差値、全国平均点、到達度ライン

【偏差値度数分布】

今回と過回の偏差値度数分布

【個人成績上位者】

順位、クラス、番号氏名、得点、偏差値

<データC 教科別集計：国語・数学・英語>

【成績推移】

今回と過回の配点合計、平均点、人数、全国偏差値、全国平均点、到達度ライン

【大問得点】

大問ごとの配点、人数、校内平均点、全国平均点、到達度評価(分布・グラフ)、到達度ライン

【偏差値度数分布】

今回と過回の偏差値度数分布

【個人成績上位者】

順位、クラス、番号氏名、得点、偏差値

<データD クラス別集計>

【総合成績一覧】

受検科目・国数英型・国英型・数英型の配点合計、クラスと校内の平均点、人数、偏差値、到達度ライン

【偏差値度数分布】

受検科目・国数英型・国英型・数英型の偏差値度数分布

<データE 得点偏差値対照表>

国語、数学、英語の得点と全国・校内偏差値の対照表

<データF 校内集計：学習状況リサーチ結果>

【学習状況結果】

意識結果・学習全般と国数英の校内と全体のアンケート回答率

【回答別の平均正答率】

学習全般・国数英の校内と全体の回答別と平均正答率

「特別分析資料」

〈データ A：学力分析①平均点、偏差値度数分布〉

【平均点】

受検科目・国数英型・国英型・数英型の校内と全国の平均点比較(グラフ)

【偏差値度数分布】

受検科目・国数英型の校内、校内(前回)、全国の偏差値度数分布

〈データ B：大問別得点(全国との比)〉

【大問別得点率】

国語、数学、英語の大問ごとの校内と全国の正答率の比較(グラフ)

〈データ C：大問別得点 5段階評価〉

【大問別得点率】

国語、数学、英語の大問ごとの5段階による評価

〈データ D：クラス別大問得点〉

クラスごとの大問別のクラス平均、学年平均、全国平均のグラフ

〈データ E：クラス別大問得点率〉

生徒個人の受検科目(大問ごとの得点率)・国数英型の得点、偏差値、順位

〈データ F：3教科得点順個人大問別得点率〉

データ E を順位別に並べたもの

〈データ G：小問別得点率比較 国語・英語・数学〉

校内の小問ごとの小問名、配点、貴校平均得点率、全国平均得点率、全国との差、得点率グラフ(校内・全国)

「その他」

個人別の受検科目・国数英型・国英型・数英型の得点、偏差値、校内得点順位の c s v データの提供

※学校の同意を前提して、直接、教育委員会への情報提供を行います。

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

「全国偏差値」は、「学研標準化偏差値」による値です。「学研標準化偏差値」は、各回を通じて単一のスケールを用いることにより、各種分析などを同一の基準で行い、相関を高める目的で案出されたものです。具体的には、学研の他の模試を基準として「基礎力測定診断」の同一受検校のデータを抽出し、その成績を対比させることによって換算スケールを作成します。このスケールによって算出した値が「学研標準化偏差値」です。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

「基礎力測定診断」では、本番リリースの前にサンプル校への協力により、1,000名程度のプレ測定を実施し、各小問の正答率を確認、極端に上下にぶれることのないように問題のチェックを行う。

(2) 学校における実施方法

学校において円滑な実施・運営がなされるよう、実施要領を問題用紙等と併せて送付。

〈学校の役割〉

- 試験監督
- 解答用紙(答案)の整理
- 返送準備 ※弊社では、契約している宅配業者が発送伝票も用意し、学校へ回収に伺う
- 問題冊子の処分
- 弊社連絡先としてフリーダイヤルを提示

(3) 採点の方法と体制

採点については、個人情報保護契約を締結している業者に委託。セキュリティの観点から、第三者の入室ができない部屋を設け、作業を行う(携帯電話・スマートフォンの持ち込み禁止)。

採点には、答案をスキャンし、サーバー上で管理するデジタル採点システムを採用。採点者が小問単位で採点を行うため、誤りがほとんど起こらず、また2人以上で同一問題を採点した結果を照合する。採点基準については、想定される解答を元に行い、サンプル校での結果を加えて精度を高めていく。

(4) 情報管理体制

学研アソシエ プライバシーマーク 認定番号：第10861083(06)号

現在の弊社の個人情報保護方針に準じます。

1. 当社は、個人情報を取得する場合には、当社の事業活動に必要な範囲に限定し、事前に利用目的及び提供の有無を明確にし、本人の同意を得た上で、目的の範囲内において適切に利用し、目的外利用を行わないための措置を講じます。
2. 当社は、前項の措置により取得した個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合には、十分な保護水準を満たした者を選定し、契約等により適切な措置を講じます。
3. 当社は、すべての事業で取り扱う個人情報および従業員等の個人情報に関して、個人情報保護に関する法令、国が定める指針およびその他の規範を遵守します。そのため、日本工業規格「個人情報保護マネジメントシステム - 要求事項」(JIS Q 15001:2006)に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを策定し、適切に運用いたします。
4. 当社は、個人情報への不正アクセス、個人情報の漏洩、滅失又はき損などのリスクに対して合理的な安全対策および是正措置を講じます。
5. 当社は、個人情報の取扱い及び個人情報保護に関する苦情及び相談窓口を設置し、対応いたします。
6. 当社は、本人からの当該個人情報の開示、訂正、削除、利用停止等の要請に対して遅滞無く対応いたします。
7. 当社は、個人情報保護マネジメントシステムを継続的に見直し改善いたします。

【情報セキュリティポリシー】

- 心当たりのないメールは、添付ファイルを開かない、URLをクリックしない
- 秘密扱いの情報は、メール送信一切禁止
- 個人情報はパソコン、USBメモリー等に入れるのも、社外持ち出しするのも禁止
- HTML形式メールの送信・受信は禁止

- 会社指定以外のストレージサービスは利用しない
- パソコンのUSB 差し込み口からモバイルを充電してはいけない
- 他人の ID でパソコンにログインしてはいけない、ID の使い回しは禁止
- 機器は、ワイヤーロック、引出、ロッカーで施錠保管する
- 離席時は必ずコンピューターをロックする
- 業務と関係のない Web サイトへのアクセスは禁止
- 私用機器、私用アドレスを業務に使ってはいけない
- 持ち出しパソコン・モバイルのメールソフトに、メールが保存されてはいけない
- モバイルにはパスコードをかける
- 営業秘密を扱うシステムのアクセス権限は、定期的に権限の見直しをおこなう
- 社屋内では 無線 LAN、Wi-Fi ルーター、テザリングは禁止

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

視覚に関する配慮事項としては学校からの要請により、拡大文字問題冊子を用意する。また聴覚に関する配慮事項としては、リスニング試験の音声スクリプトの配布

(2) 事前／事後学習教材…有。

- ・事前学習…ワークブック※基礎学力を意識し、定着を目的とする教材
- ・事後学習…フォローアップテスト※テストに連動したフォロー教材で定着を図る

(3) 学習状況等のアンケート…有。

- ・内容…意識調査※学習姿勢の意識、教科に関するアンケートを行い、クロス集計で正答率と回答率の相関を分析する

(4) 個人受検の可否…学校及び団体のみの受付け、個人受検は受付けていない

(5) 問題内容の情報提供

学校からの要請により、問題見本の送付を行う。

(6) その他

学校からの要請により、教育委員会への先生用資料の提出を行う。

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

- 中学数学, 数学Ⅰの定着度合いを診断することを目的として, 義務教育段階における「数と計算」, 「図形」「数量関係」や「関数」, また, 高校においては「数と式」, 「図形と計量」「二次関数」に関する項目を中心に測定します。
- 出題範囲は中学校「数学」の学習内容と高等学校「数学Ⅰ」とし, 学習指導要領に対応した問題を出題します。ただし, 選択問題により, 数学Aや数学Ⅱも含むことがあります。
- 診断は8セットの内容で実施されます。第1回では中学校「数学」の学習内容がすべてですが, 徐々に「数学Ⅰ」の学習内容の割合が多くなり, 第8回では「数学Ⅰ」が5割程度出題されます。受検時期は各学校の学習進度に合わせて選択いただけます。
- 出題形式は選択式・短答式・記述式を組み合わせたものとし, 主として知識・技能を問う問題に加え, これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題も出題します。
- 実施方式は, PBT です。

(2)構成等

①出題形式

- ・選択式、短答式、記述式のバランス…選択式1割、短答式6割、記述式3割を想定しています。

②出題範囲

- <第1回(受検時期の目安:高1、4~7月頃)>
 - ・中学校「数学」の学習内容10割程度
- <第2回(受検時期の目安:高1、9~12月頃)>
 - ・中学校「数学」の学習内容4割程度、「数学Ⅰ」の学習内容6割程度
- <第3回(受検時期の目安:高1、1~3月~高2、4月頃)>
 - ・中学校「数学」の学習内容4割程度、「数学Ⅰ」の学習内容6割程度
- <第4回(受検時期の目安:高2、4~7月頃)>
 - ・中学校「数学」の学習内容4割程度、「数学Ⅰ」の学習内容6割程度
- <第5回(受検時期の目安:高2、9~12月頃)>
 - ・中学校「数学」の学習内容3割程度、「数学Ⅰ」の学習内容5割程度
 - それ以外(数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱから選択)の学習内容2割程度
- <第6回(受検時期の目安:高2、1~3月頃)>
 - ・中学校「数学」の学習内容3割程度、「数学Ⅰ」の学習内容5割程度
 - それ以外(数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱから選択)の学習内容2割程度
- <第7回(受検時期の目安:高3、4~7月頃)>
 - ・中学校「数学」の学習内容3割程度、「数学Ⅰ」の学習内容5割程度

それ以外(数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱから選択)の学習内容2割程度
<第8回(受検時期の目安: 高3、9~12月頃)>

- ・中学校「数学」の学習内容3割程度、「数学Ⅰ」の学習内容5割程度
それ以外(数学Ⅰ, 数学A, 数学Ⅱから選択)の学習内容2割程度

(3)難易度設定の考え方・方法

○過去問を基に作成しているため、過去に実施された際の正答率・得点率を考慮し、各問題項目の難易度を設定しています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- できることが実感できるような基礎的な問題作成も心がけます。
- 日常生活のなかで実感できるような場面設定を心掛けます。
- 義務教育レベルの問題から高校レベルの問題の体系的な出題を心がけます。

(5)その他特長

○基礎事項が確認できる短答式問題を前半の問題に配置して繰り返しやすくし、後半には基本的でも書かせる記述式問題を配置しながら、思考力・表現力・判断力を測定していきます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

※国語と同じ

(2)学校等への結果提供内容・方法

※国語と同じ

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

※国語と同じ

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

※国語と同じ

(2)学校における実施方法

※国語と同じ

(3)採点の方法と体制

※国語と同じ

(4)情報管理体制

※国語と同じ

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

※国語と同じ

(2) 事前／事後学習教材…

※国語と同じ

(3) 学習状況等のアンケート…

※国語と同じ

(4) 個人受検の可否…

※国語と同じ

(5) 問題内容の情報提供

※国語と同じ

(6) その他

※国語と同じ

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

- 英語の基礎学力の定着度合いを診断することを目的として、中学校「英語」の学習内容を含めて基礎学力の定着度合いを確認したい高校1年生・2年生・3年生を主な対象とし、英語の「書くこと」、「読むこと」、「聞くこと」、「話すこと」に関する力を測定します。
- 出題範囲は中学校「英語」の学習内容と高等学校「英語」の「コミュニケーション英語Ⅰ」とし、英語を使ったコミュニケーションの場面を想定した素材を作成し、学習指導要領に対応した問題を出題します。
- 診断は8セットの内容で実施されます。第1回では中学校「英語」の学習内容が9割程度ですが、徐々に「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容の割合が多くなり、第8回では「コミュニケーション英語Ⅰ」が8割程度出題されます。受検時期は各学校の学習進度に合わせて選択いただけます。
- 出題形式は選択式・短答式・記述式を組み合わせたものとし、主として知識・技能を問う問題に加え、主としてこれらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題を出題します。「書くこと」については英作文を、「話すこと」については会話問題を出題します。
- 実施方式は、PBTです。

(2)構成等

①出題形式

- ・選択式、短答式、記述式のバランス…選択式4割、短答式4割、記述式2割を想定しています。

Listening…4問程度。全て選択式

(リスニングCDを作成し、10分以内で実施可能な内容に収めます)

Reading…4問程度。選択式、短答式

(150~200ワード程度の英文読解)

Writing…20問程度。短答式、記述式(予定)

単語の書き取り、空欄への適語補充など、知識・技能に関する問題と、場面設定を与えられたイラストを見て、その内容から想像して英文を書く思考力・判断力・表現力等に関する問題の両方を出題します。

Speaking…1問出題。(測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供)

与えられた場面設定に対して、状況に応じた応答が可能かどうかを判断できる問題を提供します。

②出題範囲

<第1回(受検時期の目安:高1、4~7月頃)>

・中学校「英語」の学習内容9割程度、「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容1割程度

<第2回(受検時期の目安:高1、9~12月頃)>

・中学校「英語」の学習内容8割程度、「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容2割程度

<第3回(受検時期の目安:高1、1~3月~高2、4月頃)>

・中学校「英語」の学習内容7割程度、「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容3割程度

<第4回(受検時期の目安:高2、4~7月頃)>

・中学校「英語」の学習内容6割程度、「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容4割程度

<第5回(受検時期の目安:高2、9~12月頃)>

・中学校「英語」の学習内容5割程度、「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容5割程度

<第6回(受検時期の目安:高2、1~3月~高3、4月頃)>

・中学校「英語」の学習内容4割程度、「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容6割程度

<第7回(受検時期の目安:高3、4~7月頃)>

・中学校「英語」の学習内容3割程度、「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容7割程度

<第8回(受検時期の目安:高3、9~12月頃)>

・中学校「英語」の学習内容2割程度、「コミュニケーション英語Ⅰ」の学習内容8割程度

(3)難易度設定の考え方・方法

○過去問を基に作成しているため、過去に実施された際の正答率・得点率を考慮し、各問題項目の難易度を設定しています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

○日常的に触れる機会の多い素材を用いた問題作成も心がけます。

○進学後の学習や就職後の社会生活の場面を意識させる問題設定も心がけます。

○義務教育レベルの問題から高校レベルの問題の体系的な出題を心がけます。

(5)その他特長

○基礎学力である語彙や文法などの知識に関する問題だけでなく、リスニング問題と記述式の英作問題を出題し、「読む」、「聞く」、「書く」それぞれの能力について、思考力・表現力・判断力を測定していきます。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

※国語と同じ

(2)学校等への結果提供内容・方法

※国語と同じ

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

※国語と同じ

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

※国語と同じ

(2) 学校における実施方法

※国語と同じ

(3) 採点の方法と体制

※国語と同じ

(4) 情報管理体制

※国語と同じ

Ⅳ. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

※国語と同じ

(2) 事前／事後学習教材…有。

※国語と同じ

(3) 学習状況等のアンケート…有無。

※国語と同じ

(4) 個人受検の可否…

※国語と同じ

(5) 問題内容の情報提供

※国語と同じ

(6) その他

※国語と同じ

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社 学研アソシエ
測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース
対象教科:国語・数学・英語
測定内容の区分:基本タイプ

I. 出題に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準					
			I.(1)	I.(2)	I.(3)	I.(4)	I.(5)	

II. 結果提供に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II.(1)	II.(2)
成績帳票	個人成績表、先生用資料、特別分析資料	II-1、II-2、II-3		

III. 運営に関すること

<提出必須の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	基礎力測定診断 実施要項	III
学校用実施マニュアル	同上	

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

記述式答案の返送方法について

— 返送のための答案整理と、返送方法をご案内いたします。 —

◆ 返送資材セットには下記のものと同封されています。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ① 答案等送付枚数明細書 | ⑤ 答案等保護用ビニール袋 |
| ② 答案綴じ用表紙・ウラ表紙 | ⑥ 答案等返送用袋 |
| ③ 成績原票綴じ用表紙・ウラ表紙 | ⑦ 「学研模試答案在中」ラベル |
| ④ 答案等綴じ用黒ひも | |

◎試験が終わりましたら、下記の手順で答案を整理してご返送ください。

1 答案・成績原票の整理は・・・

- ① 返送する答案・成績原票は、教科別・クラス別・受験番号順に並べて枚数を確認してください。
- ② 受験番号・氏名の記入漏れがありましたら、加筆をお願いいたします。

2 答案綴じ用表紙とウラ表紙の綴じ方は・・・

- ① 整理した **1** の答案に、表紙・ウラ表紙をつけ、答案綴じ用黒ひもで綴じてください。
同様に、成績原票にも表紙・ウラ表紙をつけ、原票綴じ用黒ひもで綴じてください。
- ② 答案綴じ用表紙には、学校名、学校コード、答案枚数等をご記入ください。
- ③ お申し込み時の受験者が**300**名を超える際は、返送資材セットを複数お送りしております。**400**枚以上の場合は、分冊し、全何冊中の何番目かもご記入ください。

3 答案等送付枚数明細書の記入は・・・

- ① 返送資材の「答案等送付枚数明細書」には、答案枚数等の必要事項を記入してください。
※追加答案がある場合は「答案追加送付書」に○印をつけてください。
- ② 「答案等送付枚数明細書」は、必ず答案と同送してください（追加答案返送の際は不要です）。

4 答案の梱包は・・・

- ① 答案、成績原票、「答案等送付枚数明細書」は、同封のビニール袋に入れてから「答案等返送用袋」に封入してください。
- ② 「答案等返送用袋」には同封の「学研模試答案在中」ラベル（学校名・学校コード等を記入）を貼ってください。
★学校コード：「学校コード」は、大学入試センター試験で使用される高等学校コードの5桁の数字部分とさせていただきます。
※進路・意識調査セット受験の場合、進路・意識調査の回答マークシートは、答案と同送をお願いします。

5 答案の返送方法は・・・

- ◎**貴校事務室**でお渡しいただけるように、ご用意ください。
- ① 弊社指定の宅配業者が**ご連絡いただいた回収指定日（13～16時頃の時間帯）**にお引き取りに伺います。
宅配伝票（住所・貴校名記載済み）は宅配業者が持参いたします。
 - ② 上記で返送出来なかった答案（追加返送答案）は、貴校の封筒等に「学研模試答案在中」ラベルを貼って事務室にご用意ください。**3**の明細書の「答案追加送付欄」の回収指定日、またはフリーダイヤルまでご連絡に従い、①と同様にお引き取りをいたします。
 - ③ 上記宅配便の「**お客様控え伝票**」は、未着等事故が生じた場合の調査の手掛りになりますので、30日間は保管をお願いします。
- 〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-13 タケウチビル 3F
株式会社 学研アソシエ 学力開発事業部
☎ 0120-598-734 ☎ 03-3490-4581

※試験実施日の変更等により回収日を変更される場合は、上記フリーダイヤルまでご連絡ください。

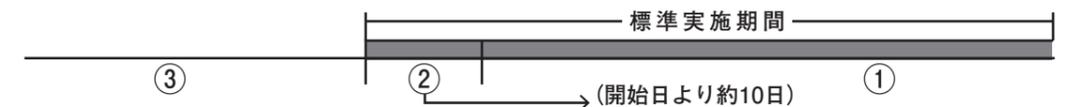
実施要領

○実施日程

- 第1回（高1・高2・高3）…………… 標準実施期間4月6日(土)～7月31日(水)
- 第2回（高1・高2・高3）…………… 標準実施期間9月1日(日)～12月20日(金)
- 第3回（高1・高2）…………… 標準実施期間1月9日(木)～2月28日(金)

■成績データ（個人成績表・先生用資料等）の発送時期は以下の通りです。

- ① 各回の実施期間の開始日より約10日以降に到着した答案については、最速約2週間で発送いたします。
- ② ①の答案より以前に到着した答案は、3週間前後で発送いたします。
- ③ 実施期間以前に到着した答案は、②と共に成績処理を行い発送いたします。



【注1】遅れ実施の場合の成績データの発送時期は、担当者またはフリーダイヤルまでご確認をお願いいたします。
【注2】各教科の採点答案は画像データとして生徒用個人成績表の裏面に掲載しています（実際の答案は返却されません）。

試験実施に際してお届けしたもの

基礎力測定診断 をご採用いただき、誠にありがとうございます。さて、試験を実施していただくために必要な右のものをお送りしました。間違いなく送付されているかどうか、ご確認くださいませよう願いたします。万一、不足等がございましたら、恐れ入りますが下記フリーダイヤルまで至急ご連絡の程願いたします。
※各教科とも、解答用紙は試験問題の冊子に挟み込んであります。
※ふりかえりシートはフォローアップテストに挟み込んであります。

送付内容		チェック
① 試験問題(解答用紙)	国語	
	数学	
	英語	
② 成績原票		
③ 解答と解説		
④ 「国数英ワークブック」	解答 解説	
⑤ フォローアップテスト	解答 解説	
⑥ 実施要領		
⑦ 返送資材セット		

【注1】上記①～⑤の送付物は、先生用として若干の予備部数を加えてあります。

【注2】③「解答と解説」は試験終了後にご配付ください。

■学校コードについて…「学校コード」は、大学入試センター試験で使用される高等学校コードの5桁の数字部分とさせていただきます。
【例】大学入試センター試験コードが「12345A」ならば、貴校コードは「12345」です。
なお、例外として弊社指定の学校コードにてご受験いただく場合は、別途ご連絡させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ先

FAX 0120-476-100

※ファックスは24時間可

☎ 0120-598-734

【受付時間】平日8:30～17:30(土日祝日を除く)

ホームページ <https://www.gakuryoku.gakken.co.jp>

E-mail gakuryoku@gakken.co.jp

株式会社 学研アソシエ 学力開発事業部

〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-13 タケウチビル
TEL 03-3490-4581 FAX 03-3779-0859

1 試験実施上の要点

(1) 受験型・試験教科

※各教科100点満点です。

受験型	教科数	教科
①型	3教科	国語・数学・英語
②型	2教科	国語・英語
③型	2教科	数学・英語

(2) 時間割

	数学	英語	成績原票記入	国語
時間帯	9:00	10:00	11:00	11:10
	9:50	10:50	11:10	12:00
所要時間	50分	50分	10分	50分

※上記は一例です。貴校のご都合で開始時刻や休憩時間を変更するのは差し支えありませんが、各教科の所要時間は厳守してください。

(3) 問題選択

国語・数学の問題の選択方法については、それぞれの問題冊子の表紙に明示してあります。指示に従わず、どの問題を選択したか明記されていない場合、また、選択問題をすべて解答した場合などは採点対象外(0点)になることがありますので、格段のご注意をお願いします。

注) 成績原票で進学希望の○印を記入した際、国語・数学にある就職希望者の問題を誤って選択した場合でも、個人成績表等では進学希望者として成績処理が行われます。反対に、成績原票に進学希望の○印を記入しない場合は、就職希望者として成績処理が行われます。あらかじめご了承ください。

2 省略

3 解答用紙および成績原票記入上の注意

- ① 解答、学校名、受験番号、氏名(フリガナ・漢字等)は、必ず濃くはっきりと、大きめに記入するようご指示ください。(答案はスキャナーで読み込んで、生徒用個人成績表の裏面に縮小画像データとして掲載します。文字が薄い場合は読みにくくなりますので、ご注意ください。)
- ② 受験番号が飛ぶ場合も、未受験者の番号そのままにして、各人の出席番号を用いるようお願いいたします。
- ③ 年間複数回ご受験いただく場合は、同じ受験生には同じ受験番号を用いるようお願いいたします。(受験番号が異なると個人成績表「成績の推移」のデータが表示されない場合があります。)
- ④ 解答用紙および成績原票右下のQRコードには何も書き入れないようご指示ください。正しい集計が得られなくなる恐れがあります。
- ⑤ 成績原票の記入内容をもとに、コンピュータですべてのデータ・資料を作成します。記入に際し、生徒の皆様へ格段のご注意とご指示をお願いいたします。
- ⑥ 「成績原票」は1教科でも試験を受けた場合は必ず提出させていただきます。なお、未受験の際は提出不要です。

●受験番号…クラスの数字2けた+出席番号2けた。クラス…数字化して記入。1けたの数字は頭に0を付ける。1組→ , 2組→02…/A組→01, B組→02…出席番号…学校における出席番号。1けたの数字は頭に0を付ける。

●氏名…「フリガナ」と「漢字等」を記入。フリガナ…カタカナで記入。/漢字等…漢字を交えて記入。

ここに書き込みがあると、データが正しく読み取れず、集計が正しく行われぬ恐れがあります。

▼「フリガナ」は、カタカナで濃くはっきり大きめに記入すること。

学校名	学研第一高校			フリガナ	ガクケン イチロウ
受験番号	学年	クラス番号	クラス出席番号	氏名	漢字等
	1	02	08		学研 一郎



170111200

学研模試 HP に掲載されている情報を見ることができます!

学研模試 HP (https://www.gakuryoku.gakken.co.jp) に掲載されている次の情報を、下記のパスワードを入力することでご利用いただけます。

<提供情報>

・「学研・進学情報」の閲覧…… パスワード: tu%320

・「文章の書き方講座 先生用マニュアル」のダウンロード

・「課題作文/就職作文 ワークシート」のダウンロード

パスワード: gk1671

※ご不明点はフリーダイヤルまでお問い合わせください。

4 成績原票記入上の注意

- ① 受験科目は必ず○付けをお願いします。
- ② 2表の受験番号、3表の氏名については、成績原票記載の注意事項に従うよう、指示をお願いします。
- ③ 4表の進学希望と就職希望・未定では、出力する成績データに差異が生じます。進学希望の意識がはっきりある場合には、○印を記入するよう指示をお願いします。
- ④ 成績原票左上と右下のマークは、成績データを処理するうえで重要です。書き込み等のないように、注意をお願いします。

(※) 誕生日記載についてお願い

成績原票では、誕生日欄を新たに作成いたしました。これは、誕生日記載により、受験番号の書き間違いや同姓同名等による答案と成績原票の照合不明率改善や、今後の成績資料向上に役立てることを目的としております。

ご理解とご協力のほどお願いいたします。

ここに書き込みがあると、成績データ処理が正しく行われぬ恐れがあります。

学研 基礎力測定診断

成績原票

【1表】 受験教科確認欄 (受験教科を○で囲む)

国語 ○ 数学 ○ 英語 ○

【2表】 受験番号記入上の注意 (記入例)

●クラス…数字化して記入 2組5番⇒ 0 2 0 5

●出席番号…学校における出席番号 J組36番⇒ 1 0 3 6

1けたの場合は頭に0を付ける

【3表】 氏名 (カタカナで記入 姓と名の間はあけない)

ガクケン イチロウ

【3表】 氏名記入例: 学研一郎⇒ ガクケンイチロウ

【4表】 進学希望

○

←高校卒業後、進学希望の場合は○を記入してください。注) 就職希望、未定の場合は何も書く必要はありません。

【5表】 記入例

1月1日⇒ 0 1 0 1

▶1けたの場合は頭に0を付ける

【個人情報についてのお約束】

Vステップの受験に際してご提供いただく個人情報は個人情報守秘義務を厳守したうえで、採点や成績処理、成績資料の作成以外に一切使用しないことをお約束いたします。

なお、成績結果をもとに統計資料を作成する場合がありますが、個人や学校が特定される情報を掲載することは一切ありませんので、ご安心ください。

5000003340

株式会社 学研アソシエ 学力開発事業部

\$\$\$900

ここに書き込みがあると、成績データ処理が正しく行われぬ可能性があります。

5 受験料のご送金にあたってのお願い

- ご請求に関しては、成績データ・個人成績表発送から数日以内に、下記のように「請求書」を郵便にて別送いたします。なお、各「請求書」の1名あたりの受験料は、弊社案内にある「標準受験料」から事務手数料を差し引いた「ご請求額」となります。(受験者数が6名以上の場合) 請求額×実受験者数 (受験者数が5名以下の場合) 請求額×実受験者数+配送料金(問題送付, 答案回収, 資料送付など実費1,500円)
- ご送金は、請求書に添付の郵便局用「払込取扱票」か、銀行用の「振込依頼書」をご使用ください(送金手数料弊社負担)。なお事務処理上、誠に恐縮ですが、請求書到着後10日以内を目途にご送金くださいますようお願いいたします。
- 郵便局用の「振込票兼受領証」や、銀行用の「振込金受取書」をもって領収書に代えさせていただきます。

学研アソシエの個人情報の取り扱いについて

弊社の模試・テスト・小論文等のご実施にあたり、ご提供いただきました個人情報に関しては、個人情報関連法令を遵守し、当該商品の採点・添削・成績データ処理や、各種資料作成以外の目的には一切使用しないことをお約束いたします。

株式会社 学研アソシエ 学力開発事業部 〒141-0031 東京都品川区西五反田8-1-13 タケウチビル ☎0120-598-734 受付時間: 平日 9:00~17:30(土日祝日を除く)



弊社は、財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)より、個人情報の取り扱いが適切に行われている企業に付与される「プライバシーマーク」の認定を受けています。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

第1回・第2回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、<u>正しい漢字・熟語</u>を書くことができる。</p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 4問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第3学年]</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、<u>正しい漢字・熟語を読む</u>ことができる。</p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 4 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>C 読むこと</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、<u>ことわざ・慣用句・故事成語・四字熟語などの正しい使い方</u>ができる。</p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 3 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(イ) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、語と語の続き方に注意しながら<u>正しい呼応表現を使う</u>ことができる。</p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 4 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(ウ) 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、相手や目的に応じ、<u>敬語の使い方を工夫</u>することができる。</p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 3 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第2学年]</p> <p>2 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> 与えられた文に即して、語と語の続き方に注意しながら<u>正しい接続語を使う</u>ことができる。 義務教育段階の学習内容も含む。 	<p>【設問数】 5 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>C 読むこと</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕</p> <p>2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(エ) 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・論理的な文章について、<u>筆者の主張を捉え、その主張の内容を説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1・問四</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 論理的な文章について、<u>筆者の主張とその主張の根拠を捉えることができる。</u></p>	<p>【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 1・問一、二、三、五、六</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・場面の展開や登場人物の相互関係、<u>心情の変化などについて描写を基に捉え、説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2・問三</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。</u></p>	<p>【設問数】 6 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 2・問一、二、四、五、六、七</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>詩の形式を捉えたり、表現されている心情・内容を味わったりすることができる。</u></p> <p>・ 義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 6 問程度</p> <p>【出題形式】 選択式・短答式</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第2学年]</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・平易な古典の文章について、<u>文語のきまり（歴史的仮名遣い、動詞の活用・終止形、係り結び）を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問程度 【出題形式】選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について 気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> ・平易な古典の文章について、<u>文章の内容を理解すること</u>ができる。 ・義務教育段階の学習内容も含む。 	<p>【設問数】 3問程度</p> <p>【出題形式】 選択式・短答式</p>	<p>C 読むこと</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・平易な漢文の文章について、<u>漢文のきまり(返り点、訓読、 など)を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問程度 【出題形式】選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>平易な漢文の文章</u>について、 <u>文章の内容を理解すること</u> ができる。</p>	<p>【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

第3回・第4回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・与えられた文に即して、 <u>正しい漢字・熟語</u> を書くことができる。	【設問数】5問程度 【出題形式】短答式	B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 2 B書くこと (1) ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1) ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、<u>正しい漢字・熟語を読む</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 5問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、<u>相手や目的に応じ、類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などの正しい使い方</u>ができる。</p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 3問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き、語彙を豊かにすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>短歌の形式・表現技法を捉え、表現されている心情・内容を味わうことができる。</u></p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 4 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について 気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(オ) 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>俳句の形式・表現技法を捉え、表現されている心情・内容を味わうことができる。</u></p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 4 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について 気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(オ) 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> 目的や相手などに即して、分かりやすい文章で、<u>基本的な形式を踏まえた手紙を書く</u>ことができる。 義務教育段階の学習内容も含む。 	<p>【設問数】 5問程度</p> <p>【出題形式】 短答式・記述式</p>	B 書くこと	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第1学年]</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第2学年]</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・論理的な文章について、<u>筆者の主張を捉え、その主張の内容を説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1・問四</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 論理的な文章について、<u>筆者の主張とその主張の根拠を捉えることができる。</u></p>	<p>【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短 答式 サンプル問題 1 ・ 問一、 二、三、五、六</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・場面の展開や登場人物の相互関係、<u>心情の変化などについて描写を基に捉え、説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2・問三</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。</u></p>	<p>【設問数】 6 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 2・問一、二、四、五、六、七</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・平易な古典の文章について、<u>文語のきまり（歴史的仮名遣い、動詞の活用・終止形、係り結び、基礎的な助動詞など）を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】 4 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1) ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について 気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> ・平易な古典の文章について、<u>文章の内容を理解すること</u>ができる。 ・義務教育段階の学習内容も含む。 	<p>【設問数】 3問程度</p> <p>【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・平易な漢文の文章について、<u>漢文のきまり(返り点、訓読、 など)を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問程度 【出題形式】選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・平易な漢文の文章について、<u>文章の内容を理解すること</u>ができる。</p>	<p>【設問数】3問程度 【出題形式】選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

第5回・第6回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・与えられた文に即して、 <u>正しい漢字・熟語</u> を書くことができる。	【設問数】5問程度 【出題形式】短答式	B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 2 B書くこと (1) ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1) ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、<u>正しい漢字・熟語を読む</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 5問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>C 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、<u>ことわざ・慣用句・故事成語・四字熟語</u>などの正しい使い方ができる。</p>	<p>【設問数】 3問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>詩の形式を捉えたり、表現されている心情・内容を味わったりすることができる。</u></p> <p>・ 義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 6 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第2学年]</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第3学年]</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。</p> <p>オ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>短歌の形式・表現技法を捉え、表現されている心情・内容を味わうことができる。</u></p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 4 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(オ) 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、相手や目的に応じ、<u>敬語の使い方を工夫</u>することができる。</p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 3問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> 目的や相手などに即して、分かりやすい文章で、<u>基本的な形式を踏まえた手紙を書く</u>ことができる。 義務教育段階の学習内容も含む。 	<p>【設問数】 5 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式・記述式</p>	B 書くこと	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第1学年]</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第2学年]</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・論理的な文章について、<u>筆者の主張を捉え、その主張の内容を説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1 ・ 問四</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 論理的な文章について、<u>筆者の主張とその主張の根拠を捉えることができる。</u></p>	<p>【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 1 ・ 問一、二、三、五、六</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・場面の展開や登場人物の相互関係、<u>心情の変化などについて、描写を基に捉え、説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2・問三</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。</u></p>	<p>【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・記述式 サンプル問題 2・問一、二、四、五、六、七</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・平易な古典の文章について、<u>文語のきまり（歴史的仮名遣い、動詞の活用・終止形、係り結び、基礎的な助動詞など）を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】 4 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1) ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について 気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>平易な古典の文章</u>について、 <u>文章の内容を理解すること</u> ができる。</p>	<p>【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について 気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・平易な漢文の文章について、<u>漢文のきまり（返り点、訓読、 など）を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>平易な漢文の文章</u>について、 <u>文章の内容を理解することが</u> できる。</p>	<p>【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

第7回・第8回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・与えられた文に即して、 <u>正しい漢字・熟語</u> を書くことができる。	【設問数】5問程度 【出題形式】短答式	B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 2 B書くこと (1) ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1) ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、<u>正しい漢字・熟語を読む</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 5問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>C 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>

+

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、<u>ことわざ・慣用句・故事成語・四字熟語</u>などの正しい使い方ができる。</p>	<p>【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>俳句の形式・表現技法を捉え、表現されている心情・内容を味わうことができる。</u></p>	<p>【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>C 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について 気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> 品詞の識別や助詞・助動詞などの用法の識別など、<u>口語文法の基本を理解することができる。</u> 義務教育段階の学習内容も含む。 	<p>【設問数】 3問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(ウ) 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。</p> <p>(エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた文に即して、相手や目的に応じ、<u>敬語の使い方を工夫</u>することができる。</p> <p>・義務教育段階の学習内容も含む。</p>	<p>【設問数】 3 問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>B 書くこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 B 書くこと (1)</p> <p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語 [第2学年]</p> <p>2 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] (1)</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(ア) 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・論理的な文章について、<u>筆者の主張を捉え、その主張の内容を説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1・問四</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ 論理的な文章について、<u>筆者の主張とその主張の根拠を捉えることができる。</u></p>	<p>【設問数】 5 問程度 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 1・問一、二、三、五、六</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉え、説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 記述式 サンプル問題 2・問三</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・<u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。</u></p>	<p>【設問数】 6 問程度 【出題形式】 選択式・記述式 サンプル問題 2・問一、二、四、五、六、七</p>	<p>C 読むこと</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 古典の文章について、<u>文語のきまり</u>（歴史的仮名遣い、動詞の活用・終止形、係り結び、<u>基礎的な助動詞</u>など）を<u>理解</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合 2 C 読むこと (1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1) ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について 気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>古典の文章</u>について、<u>文章の内容を理解</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について 気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・平易な漢文の文章について、<u>漢文のきまり(返り点、訓読、 など)を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】2問程度 【出題形式】選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ <u>平易な漢文の文章</u>について、 <u>文章の内容を理解すること</u> ができる。</p>	<p>【設問数】 3 問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 読むこと 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・平易な漢詩について、<u>その形式や詩の内容を理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】 5問程度 【出題形式】 選択式・ 短答式</p>	<p>C 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 読むこと</p>	<p>国語総合</p> <p>2 C 読むこと (1)</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>2 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 (1)</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第1回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な正の数と負の数の四則計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(1) ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。
・ <u>根号のついた数を簡単にしたり、分母を有理化することを含め、根号のついた数の四則計算をすることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(1) イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
・ <u>2つの数の大小関係を正しく判断したうえで絶対値記号を外すことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(1) エ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・ <u>2文字からなる整式の式の展開や四則計算</u>ができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	A 数と式	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(2) イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$</p>
<p>・ <u>多項式÷単項式の計算をすることや、式の値を求めること</u>ができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	A 数と式	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(1) ア 単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすること。</p>

<ul style="list-style-type: none"> • <u>簡単な1次方程式を解くことができる。</u> 	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	A 数と式	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2A(3) ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • <u>因数分解を含むいろいろな方法で二次方程式を解くことができる。</u> 	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	A 数と式	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A(3) イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • <u>2直線の交点の座標を求めることができる。</u> 	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	C 関数	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C(1) イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 関数 $y=ax^2$ における <u>xの変域に対応するyの変域を求めることができる。</u> 	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	C 関数	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C(1) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> • <u>図や表などを活用してすべての場合の数を調べ、それをもとに確率を求めることができる。</u> 	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	D 資料の活用	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(1) ア 確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>対頂角，平行線や角の性質を利用して，角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(1) ア 平行線や角の性質を理解し，それに基づいて図形の性質を確かめ説明すること。
・ <u>平行線と線分の比の性質を利用して線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし，それらを確かめること。
・ <u>円の基本性質や三角形の角についての基本性質を利用して，角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(2) イ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。
・ <u>基本的な柱体，錐体の表面積や体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(1) ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体，錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。
・ <u>三角形の辺の長さを三平方の定理を利用して求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(3) イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。

<p>・ <u>円周角の定理</u>，<u>半円の弧に対する円周角を利用して</u>，<u>角の大きさを求めることができる</u>。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>B 図形</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(2) イ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。</p>
<p>・ <u>円周角の定理</u>，<u>相似な図形の線分の比の性質を利用して</u>，<u>線分の長さを求めることができる</u>。</p>	<p>【設問数】 2問 【出題形式】 短答式</p>	<p>B 図形</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) オ 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。 2 B(2) イ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>放物線上の点の座標を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	C 関 数	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 C(1) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解 すること。 ウ 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。
・ <u>放物線上の2点を通る直線の 式を求める</u> ことができる。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 関 数	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 C(1) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解 すること。 ウ 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。
・ <u>放物線上の2点を結ぶ線分の 長さの比を求める</u> ことができ る。	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	C 関 数	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 C(1) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解 すること。 ウ 関数 $y=ax^2$ を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

<p>・<u>図や表を活用して、与えられた条件に適する場合の数をすべて求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(1) ア 確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>
<p>・<u>図や表を活用して、すべての場合の数のなかで条件に適するものを選び、確率を求める過程を説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 2問 【出題形式】 記述式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(1) ア 確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第2回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>1種類の文字からなる分数の形</u> の1次式の減法ができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(2) ウ 簡単な一次式の加法と減法の計算をすること。
・ <u>平方根のおよその値を数直線上に表示</u> できる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(1) ウ 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすること。
・ <u>公式を利用した因数分解を正しく行う</u> ことができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(2) イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>$(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ を利用した分母の有理化</u>ができる。 	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	(1) 数と式	<p>数学 I</p> <p>(1)数と式</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(7) 実数</p> <p>数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>二次の乗法公式の計算を正しく行う</u>ことができる。 	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	(1) 数と式	<p>数学 I</p> <p>(1)数と式</p> <p>イ 式</p> <p>(7) 式の展開と因数分解</p> <p>二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め, 式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>

<p>・<u>連立方程式の式の特徴を捉え、いろいろな方法でこれを解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(2) ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p>
<p>・<u>解の公式を利用して二次方程式を解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(3) ウ 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。</p>
<p>・<u>二次方程式が重解をもつ条件を判別式を利用して求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 イ 二次関数の値の変化 (イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>
<p>・<u>関数 $y=ax^2$ における変化の割合を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 C(1) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<p>・<u>図や表を活用して起こり得るすべての場合を調べ、要求された確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 D(1) ア 確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>三角形と比の定理を利用して線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) イ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。
・ <u>いろいろな四角形の基本性質を利用して角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(2) ウ 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり，図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。
・ <u>半径と中心角が与えられたおうぎ形の面積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(2) ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体，錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。
・ <u>二等辺三角形の高さを三平方の定理を利用して求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(3) イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
・ <u>円周角と中心角の関係を利用して角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(2) イ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>未知数を含む整式において、与えられた条件から整式を決定することができる。</u> 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1)数と式 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>整式の整数倍や加法・減法の計算が正しく行える。</u> 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) ア 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>因数分解および式の値を求めることができる。</u> 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1)数と式 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。

<p>・ <u>1次不等式を解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1)数と式 イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>・ <u>不等式の性質を理解し、やや複雑な形の1次不等式を正しく式変形しながら解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1)数と式 イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>・ <u>数直線上に2つの不等式の共通範囲を図示し、これらの関係を考察することで条件に適する解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1)数と式 イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>

<p>・ <u>二次関数がある点を通るとき の定数の値を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフを定められた定義域の範囲で正しく図示したうえ、最大値と最小値について調べる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフを平行移動して得られるグラフを表す式を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第3回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な正の数と負の数の四則計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (1)	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(1) ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。
・ <u>二次の整式の整数倍の計算や加法・減法の計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (2)	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。
・ <u>単項式の乗法, 除法の計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (3)	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。
・ <u>分配法則を利用する整式の計算で, 計算の工夫をするなど適切に処理することができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 サンプル問題 2 (4)	(1) 数と式	数学 I (1)数と式 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め, 式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・循環小数の表し方を正しく理解し、<u>循環小数を分数になおすことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">サンプル問題 2 (5)</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1)数と式 ア 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則演算を すること。</p>

<ul style="list-style-type: none"> 基本的な一元一次方程式を、正しく処理し、解くことができる。 	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 A(3) ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 放物線と直線の共有点のx座標から、放物線を表す式や直線を表す式を決定することができる。 	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C(1) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 絶対値記号の意味を理解し、絶対値記号を含んだ基本的な方程式を解くことができる。 	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1)数と式 イ 式 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 根号を含む式を整理して、その結果から近似値を求めることができる。 	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1)数と式 ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>

<p>・ <u>図や表を活用してすべての場合の数を求め、その結果を利用して確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(1) ア 確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>
--	--------------------------------	--------------------	--

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>平面図形の角に関する基本性質を活用して、角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(1) イ 平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして、多角形の角についての性質が見いだせることを知ること。
・ <u>角錐において、底面の面積と体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(2) ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。
・ <u>三角形の角に関する基本性質を用いて、角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(1) ア 平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明すること。
・ <u>平行線と線分の比の性質を使って線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめること。
・ <u>三平方の定理を座標平面で活用して、2点間の距離を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(3) イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。

<p>・ <u>有名角の余弦の値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2)図形と計量 ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p>
<p>・ <u>余弦定理を利用して辺の長さを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2)図形と計量 ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>・ <u>正弦定理を利用して三角形の面積を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2)図形と計量 イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・ <u>問題文中の数量を文字を用いて表すことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式</p> <p>サンプル問題 1 (1)</p>	(1) 数と式	<p>数学 I</p> <p>(1)数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>・ <u>文章中の数量関係に着目して不等式を作り、これを解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 2 問 【出題形式】 記述式</p> <p>サンプル問題 1 (2), (3)</p>	(1) 数と式	<p>数学 I</p> <p>(1)数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>

<p>・ <u>二次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3)二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>・ <u>式の基本変形からグラフの頂点の座標を求めてグラフをかき、このグラフをもとに最大値や最小値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3)二次関数 イ (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフの平行移動について理解し、移動で得られたグラフを表す式を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3)二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第4回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な正の数と負の数の四則計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(1) ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。
・ <u>多項式の整数倍や加法・減法などの基本的な計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。
・ <u>単項式の乗法, 除法の計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。
・ <u>分配法則を用いて, 多項式×多項式の計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め, 式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・ <u>基本的なたすき掛けの因数分解</u>ができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>

<p>・ <u>基本的な1次方程式を解く</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A(3) ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p>
<p>・ <u>解の公式を利用して二次方程式を解く</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(3) ウ 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。</p>
<p>・ <u>絶対値記号を含む基本的な方程式を解く</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 イ 式 (7) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>・ <u>分母が根号を含む式である分数の分母の有理化</u>ができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 ア 数と集合 (7) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>

<p>・ <u>図や表などを活用して確率を</u> <u>求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>D 資料 の 活 用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(1) ア 確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求め ること。</p>
---	--------------------------------	-----------------------------------	---

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>平行線や三角形の角の基本性質を使って角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(1) イ 平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして、多角形の角についての性質を見いだせることを知ること。
・ <u>基本的な錐体の体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(2) ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。
・ <u>平行四辺形の性質を使って角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(2) ウ 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形的基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。
・ <u>平行線と線分の比の性質を使って線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめること。
・ <u>空間図形において、三平方の定理を使うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(3) イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な1次不等式を解くことができる。 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。
<ul style="list-style-type: none"> 1次不等式の基本性質を理解したうえで、やや複雑な1次不等式を式変形し、これを正しく解くことができる。 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。
<ul style="list-style-type: none"> 2つの不等式の解を数直線上に表し、これを考察することで条件に適する解を求めることができる。 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

<p>・ <u>基本的な二次関数のグラフの頂点を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>・ <u>与えられた二次関数のグラフをかくことで、最大値や最小値を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフの平行移動について理解し、移動で得られたグラフを表す式を求める</u>過程を説明することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>・ <u>余弦の値を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群A)</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p>
<p>・ <u>余弦定理を利用して辺の長さ</u>を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群A)</p>	<p>量(2) 図形と計</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>・ <u>正弦定理を利用して三角形の面積</u>を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群A)</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>・ <u>複数個のデータから中央値</u>を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群B)</p>	<p>の(4) 分析 データ</p>	<p>数学 I (4) データの分析 ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差などの意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明すること。</p>

<p>・ <u>複数のデータから四分位数などを求めて箱ひげ図をかくことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群B)</p>	<p>(4) の分析 データ</p>	<p>数学 I (4) データの分析 ア データの散らばり 四分位偏差，分散及び標準偏差などの意味について理解し，それらを用いてデータの傾向を把握し，説明すること。</p>
<p>・ <u>データの変化に伴って，正しい平均値を求めるために必要な作業を判断し，その修正過程を説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群B)</p>	<p>(4) の分析 データ</p>	<p>数学 I (4) データの分析 ア データの散らばり 四分位偏差，分散及び標準偏差などの意味について理解し，それらを用いてデータの傾向を把握し，説明すること。</p>
<p>・ <u>確率の定義を理解し，簡単な事象について確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (1) 場合の数と確率 イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率を求めること。また，確率を事象の考察に活用すること。</p>
<p>・ <u>図や表を用いて対象を考察し，確率を求める過程を説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 2問 【出題形式】 記述式 (※選択問題群C)</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (1) 場合の数と確率 イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率を求めること。また，確率を事象の考察に活用すること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第5回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
・ <u>分数の形の整式の減法</u> が計算できる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A(1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。
・ <u>公式を利用した因数分解</u> ができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A(2) イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
・ <u>$(a+b)(a-b)=a^2-b^2$を利用した分母の有理化</u> ができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1)数と式 ア 数と集合 (7) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>式の特徴に着目して、置き換えなどを利用した因数分解</u>ができる。 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>分配法則を利用する整式の計算で、計算の工夫をするなど適切に処理</u>することができる。 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。

<p>・<u>連立方程式をいろいろな方法で解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A(2) ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p>
<p>・<u>因数分解を利用して二次方程式を解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2A(3) イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。</p>
<p>・<u>絶対値記号を含んだ数の計算をすることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 ア 数と集合 (7) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>
<p>・<u>根号を含む式の計算ができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 ア 数と集合 (7) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>
<p>・<u>図や表などを利用して確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(1) ア 確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>中点連結定理を理解し、これを活用して線分の長さや比を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめること。
・ <u>球の体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(2) ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。
・ <u>相似な図形の面積比を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) エ 基本的な立体の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比の関係について理解すること。
・ <u>空間図形の位置関係について正しく類推し判断することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(2) ア 空間における直線や平面の位置関係を知ること。
・ <u>三角形の合同条件を理解し、これを利用して線分の長さや角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(2) ウ 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な1次不等式を解くことができる。 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。
<ul style="list-style-type: none"> 不等式の基本性質を理解し、式変形を行ったうえで1次不等式を解くことができる。 	【設問数】 1問 【出題形式】 記述式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。
<ul style="list-style-type: none"> 2つの不等式の解を数直線上に表し、これを考察することで条件に適する解を求めることができる。 	【設問数】 1問 【出題形式】 記述式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

<p>・ <u>二次関数のグラフの頂点を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフをかいたうえで最大値や最小値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフを平行移動して得られるグラフを表す二次関数の式を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>・ <u>余弦定理を利用して辺の長さを求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群A)</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>・ <u>余弦定理から線分の長さを求めたり，正弦定理を利用して外接円の半径を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 2問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群A)</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>・ <u>独立な試行の確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 2問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群B)</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (1) 場合の数と確率 イ 確率 イ) 独立な試行と確率 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。また、それを事象の考察に活用すること。</p>
<p>・ <u>反復試行の確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群B)</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学 A (1) 場合の数と確率 イ 確率 イ) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。また、確率を事象の考察に活用すること。</p>

<p>・ <u>二次方程式の解の判別をしたり，二次方程式の解と係数の関係を用いて，計算を効率的に行うことができる。</u></p>	<p>【設問数】 2問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 イ 高次方程式 (7) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすること。また，二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解すること。</p>
<p>・ <u>因数定理を用いて，3次方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 イ 高次方程式 (1) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し，簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求めること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第6回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>根号のついた数を簡単にしたり、それらの四則計算を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(1) イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
・ <u>目的に応じて、等式の簡単な変形をすることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。
・ <u>文章中に示された数量関係を捉え、それらを数式で表すことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> 置き換えを利用する因数分解ができる。 	<p>【設問数】 1問</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	(1) 数と式	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解</p> <p>二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 分配法則や式の置き換え等の工夫をすることで、整式の展開について正しく計算することができる。 	<p>【設問数】 1問</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	(1) 数と式	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>イ 式</p> <p>(ア) 式の展開と因数分解</p> <p>二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>

<p>・ <u>2つの数や式の大小関係を正しく判断し、絶対値記号を外した計算をすることが</u>できる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p>
<p>・ <u>基本的な1次不等式を解くこ</u>とができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフの頂点を求</u>めることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>・ <u>図や表を活用して、対象となる場合について考察し、確率を</u>求めることができる。</p>	<p>【設問数】 2問 【出題形式】 短答式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(1) ア 確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>三角形や四角形を空間内で平行移動してできる三角柱や直方体等について、線分の長さや移動した面積などを求めることができる。</u> 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(2) イ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものととらえたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりすること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>展開図から円錐の側面積を求めることができる。</u> 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(2) ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>相似な三角形の性質を使って線分の長さを求めることができる。</u> 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) オ 相似な図形の性質を具体的な場面で活用すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>三平方の定理を空間図形に用いることで、線分の長さを求めることができる。</u> 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(3) イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>円周角と中心角の関係を利用することで、円に内接する図形の角の大きさを求めることができる。</u> 	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(2) イ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。

<p>・ <u>二次関数のグラフの頂点を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフを正しくかくことで、二次関数の最大値や最小値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 イ 二次関数の値の変化 (7) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフを平行移動して得られるグラフを表す式を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>・ <u>鋭角の三角比の相互関係</u>が利用できる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p>
<p>・ <u>余弦定理を利用して辺の長さを求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>・ <u>正弦定理を利用して外接円の半径を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>

<p>・ <u>具体的ないくつかのデータから，中央値，四分位数を求めたり，データに適する箱ひげ図を選ぶことができる。</u></p>	<p>【設問数】 3問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群A)</p>	<p>(4) データの分析</p>	<p>数学Ⅰ (4) データの分析 ア データの散らばり 四分位偏差，分散及び標準偏差などの意味について理解し，それらを用いてデータの傾向を把握し，説明すること。</p>
<p>・ <u>簡単な事象の確率を求め，これをもとにした反復試行の確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 3問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群B)</p>	<p>(1) 場合の数と確率</p>	<p>数学A (1) 場合の数と確率 イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率を求めること。また，確率を事象の考察に活用すること。 (イ) 独立な試行と確率 独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めること。また，それを事象の考察に活用すること。</p>
<p>・ <u>二次方程式の解の種類を判別</u>ができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 イ 高次方程式 (ア) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすること。また，二次方程式の解の種類を判別及び解と係数の関係について理解すること。</p>

<p>・ <u>因数定理を用いて，三次方程式の解を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 イ 高次方程式 (4) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し，簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求めること。</p>
<p>・ <u>1次×二次に因数分解された3次方程式について，判別式からすべての解が実数である条件を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 イ 高次方程式 (7) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすること。また，二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解すること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第7回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>2文字</u> からなる分数の形の整式の減法ができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2A(1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。
・ <u>簡単なたすき掛けの因数分解</u> ができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め, 式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。
・ <u>$(a+b)(a-b)=a^2-b^2$</u> を利用した分母の有理化ができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1)数と式 ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>目的に応じて、等式の簡単な変形をすることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。
・ <u>文章中の数量関係を数式で表すことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

<p>・ <u>絶対値記号を含んだ簡単な方程式を解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1)数と式 イ 式 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>・ <u>基本的な1次不等式を解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>・ <u>二次関数の最大値や最小値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>

<p>・関数 $y=ax^2$ のグラフと直線の交点の座標を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2C(3) イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。 中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2C(1) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>
<p>・図や表を活用して確率を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(1) ア 確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>平行線と線分の比の性質を利用して線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) ウ 平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめること。
・ <u>円錐の側面のおうぎ形の中心角を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(2) ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。
・ <u>三角形と比の定理を利用して線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(1) イ 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめること。
・ <u>三平方の定理を空間図形で利用することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(3) イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
・ <u>円周角と中心角の関係を利用できる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(2) イ 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用すること。

<p>・通る3点から<u>二次関数のグラフを決定</u>することができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>
<p>・<u>二次関数のグラフを正しくかく</u>ことで、<u>二次関数の最大値や最小値を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p>
<p>・<u>二次関数のグラフを平行移動して得られるグラフを表す式を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(3) 二次関数</p>	<p>数学 I (3) 二次関数 ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p>

<p>・ <u>鋭角の三角比の相互関係</u>が利用できる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p>
<p>・ <u>余弦定理を利用して辺の長さを求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>・ <u>三角形の面積を求めるのに必要な情報を判断して、それらを組み合わせて面積を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>

<p>・ <u>具体的ないくつかのデータから、中央値、四分位数を求めたり、データに適する箱ひげ図を選ぶことができる。</u></p>	<p>【設問数】 3問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群A)</p>	<p>(4) の 分 析 デ ー タ</p>	<p>数学Ⅰ (4) データの分析 ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差などの意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明すること。</p>
<p>・ 確率の事象について、起こりうるすべての場合の数を求めたり、余事象などを用いて効率的に確率を計算して求めることができる。</p>	<p>【設問数】 3問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群B)</p>	<p>(1) 場 合 の 数 と 確 率</p>	<p>数学A (1) 場合の数と確率 イ 確率 (ア) 確率とその基本的な法則 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。また、確率を事象の考察に活用すること。</p>
<p>・ <u>二次方程式の解の種類の判別</u>したり、因数定理を用いて3次方程式を解いたり、3次方程式が3つの実数解をもつ条件を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 3問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>(1) い ろ い ろ な 式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 イ 高次方程式 (ア) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。 (イ) 因数定理と高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を因数定理などを用いて求めること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

第8回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ <u>根号のついた数を簡単にしたり, 根号のついた数の四則計算をすることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(1) イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。
・ 公式を利用した因数分解ができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(2) イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$
・ <u>整式の加法・減法を正しく行うことができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(1) ア 簡単な整式の加法, 減法及び単項式の乗法, 除法の計算をすること。

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>簡単な無理数の四則計算</u> が できる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1)数と式 ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算 をすること。
・ <u>分配法則や公式を用いた式の 展開</u> ができる。	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面 的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。

<p>・ <u>連立方程式を、いろいろな方法で解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 A(2) ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。</p>
<p>・ <u>因数分解を利用して二次方程式を解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>A 数と式</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 A(3) イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。</p>
<p>・ <u>絶対値記号を含んだ簡単な不等式を解くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(1) 数と式</p>	<p>数学 I (1) 数と式 イ 式 (イ)一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p>・ <u>関数 $y=ax^2$ のグラフ上の2点を通る直線の式を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>C 関数</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 C(3) イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 エ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。 中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 C(1) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。</p>

<p>・ <u>図や表を活用して確率を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>D 資料の活用</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2D(1) ア 確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。</p>
---------------------------------------	--------------------------------	--------------------	--

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
・ <u>対頂角や平行線の角の性質を利用して角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(1) ア 平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明すること。
・ <u>円錐の表面積や体積を求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 B(2) ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体、錐（すい）体及び球の表面積と体積を求めること。
・ <u>平行四辺形の性質を利用して角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(2) ウ 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。
・ <u>空間図形において三平方の定理を用いて線分の長さを求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 B(3) イ 三平方の定理を具体的な場面で活用すること。
・ 多角形の他の内角の大きさから、 <u>1つの外角を求めることができる。</u>	【設問数】 1問 【出題形式】 短答式	B 図形	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 B(1) イ 平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして、多角形の角についての性質が見いだせることを知ること。

<p>・ <u>鋭角の三角比の相互関係を利用して、いろいろな三角比の値を求めることができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p>
<p>・ <u>余弦定理を利用して辺の長さを求めること、また、その過程を説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 ア 三角比 (ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p>
<p>・ <u>三角形の面積を求めるのに必要な情報を取捨選択して、面積を求める過程を説明することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(2) 図形と計量</p>	<p>数学 I (2) 図形と計量 イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>

<p>・複数個のデータから中央値を求めることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式</p>	<p>(4) データの分析</p>	<p>数学 I (4) データの分析 ア データの散らばり 四分位偏差，分散及び標準偏差などの意味について理解し，それらを用いてデータの傾向を把握し，説明すること。</p>
<p>・複数個のデータから箱ひげ図を正しく選ぶことができる。 また，そのように判断した理由を説明することができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(4) データの分析</p>	<p>数学 I (4) データの分析 ア データの散らばり 四分位偏差，分散及び標準偏差などの意味について理解し，それらを用いてデータの傾向を把握し，説明すること。</p>
<p>・複数個のデータから分散を求める過程を説明することができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 記述式</p>	<p>(4) データの分析</p>	<p>数学 I (4) データの分析 ア データの散らばり 四分位偏差，分散及び標準偏差などの意味について理解し，それらを用いてデータの傾向を把握し，説明すること。</p>

<p>・ <u>恒等式の係数を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群A)</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 ア 式と証明 (イ) 等式と不等式の証明 等式や不等式が成り立つことを，それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。</p>
<p>・ <u>二次方程式の解の種類の判別</u>ができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群A)</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 イ 高次方程式 (7) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすること。また，二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。</p>
<p>・ <u>二次方程式の解と係数の関係</u>を用いて，特定の解をもつ方程式を作ることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群A)</p>	<p>(1) いろいろな式</p>	<p>数学Ⅱ (1) いろいろな式 イ 高次方程式 (7) 複素数と二次方程式 数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすること。また，二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。</p>

<p>・ <u>簡単な円や直線の方程式を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】 2問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群B)</p>	<p>(2) 図形と方程式</p>	<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 ア 円と直線 (4) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。</p>
<p>・ <u>点と直線の距離を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群B)</p>	<p>(2) 図形と方程式</p>	<p>数学Ⅱ (2) 図形と方程式 ア 円と直線 (7) 点と直線 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。</p>
<p>・ <u>具体的な3次関数の導関数を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>考え(5) 微分・積分の</p>	<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え ア 微分の考え (7) 微分係数と導関数 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p>
<p>・ <u>二次関数のグラフ上の点における接線の方程式を求め</u>ることができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>考え(5) 微分・積分の</p>	<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え ア 微分の考え (7) 微分係数と導関数 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p>

<p>・ <u>3次関数の極小値を求める</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 1問 【出題形式】 短答式 (※選択問題群C)</p>	<p>(5) 微分・積分の考え</p>	<p>数学Ⅱ (5) 微分・積分の考え ア 微分の考え (イ) 導関数の応用 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用すること。</p>
-------------------------------------	--	-------------------------	---

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース 高1

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

第1回～第3回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・主に中学校学習指導要領に示される言語材料を用いた英文を聞き取り、正しく応答することができる。</p> <p>※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】4問程度 【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号1を参照。</p>	聞くこと	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>(1) 言語活動 ア 聞くこと (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。 (エ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられたアルファベットと日本語の意味から、<u>中学校で学習した単語を類推することができる。</u></p> <p>※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>ウ 語, 連語及び慣用表現</p> <p>(ア) 1200 語程度の語</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・日本語の意味から、英語を類推し、<u>前置詞を用いた熟語を正しく使うことができる。</u></p>	<p>【設問数】4問程度 【出題形式】短答式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>ウ 語、連語及び慣用表現</p> <p>(ア) 1200語程度の語</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・中学校で学習した文法を正しく使い、<u>英語を書くことができる</u>。</p> <p>※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】4問程度 【出題形式】短答式、 または選択式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>エ 文法事項</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 中学校で学習した文法（助動詞）を正しく理解し、<u>空欄を埋めて英文を完成させる</u>ことができる。</p> <p>※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】4 問程度 【出題形式】短答式</p>	書くこと	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>エ 文法事項</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 150～200 語程度の英文を読み、<u>その内容を正しく理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】4 問程度 【出題形式】選択式、 短答式</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号2を 参照。</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>ウ 読むこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。</p> <p>(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。</p> <p>(オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた英単語を並べかえて、正しい英文を作ることができる</p> <p>※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】4問程度</p> <p>【出題形式】短答式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>エ 書くこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>エ 文法事項</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられたイラストと、その場面を理解し、<u>適切な英文(15～25語)</u>を書くことができる。</p>	<p>【設問数】1問程度 【出題形式】記述式</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号3参照。</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>エ 書くこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 与えられた場面設定を理解し、<u>状況に適した会話を発話</u>することができる</p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 スピーキング試験は実施せず。</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号 4 を参照。</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>イ 話すこと</p> <p>(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。</p> <p>(エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。</p> <p>(オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース 高2

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

第4回～第6回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・放送される英文を聞き取り、 正しく応答することができる。 <u>る。</u></p> <p>※義務教育段階の学習内容の 定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】4問程度 【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号1を 参照。</p>	聞くこと	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>(1) 言語活動 ア 聞くこと (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。 (エ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・与えられたアルファベットと単語の関係性から、<u>単語を類推し、書くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>ウ 語，連語及び慣用表現</p> <p>(ア) 1200 語程度の語</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・日本語の意味から、英語を類推し、<u>前置詞を用いた熟語を正しく使うことができる。</u></p>	<p>【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>ウ 語, 連語及び慣用表現</p> <p>(ア) 1200 語程度の語</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 与えられた日本語を理解し、指示に従って<u>英語を適切な形に変えることができる。</u></p>	<p>【設問数】10 問程度 【出題形式】短答式、または選択式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>エ 文法事項</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・中学校で学習した文法を正しく理解し、<u>空欄を埋めて英文を完成させる</u>ことができる。</p> <p>※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】4問程度 【出題形式】短答式</p>	書くこと	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>エ 文法事項</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 150～200 語程度の英文を読み、<u>その内容を正しく理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】4 問程度 【出題形式】選択式、 短答式</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号2を 参照。</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>ウ 読むこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。</p> <p>(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。</p> <p>(オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた英単語を並べかえて、正しい英文を作ることができる</p> <p>※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】 5問程度</p> <p>【出題形式】 短答式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>エ 書くこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>エ 文法事項</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられたイラストと、その場面を理解し、<u>適切な英文(15～25語)</u>を書くことができる。</p>	<p>【設問数】1問程度 【出題形式】記述式</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号3参照。</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>エ 書くこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 与えられた場面設定を理解し、<u>状況に適した会話を発話</u>することができる</p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 スピーキング試験は実施せず。</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号 4 を参照。</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>イ 話すこと</p> <p>(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。</p> <p>(エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。</p> <p>(オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース 高3

対象教科:英語

測定内容の区分:基本タイプ

第7回・第8回

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・主に中学校学習指導要領に示される言語材料を用いた英文を聞き取り、正しく応答することができる。</p> <p>※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】4問程度 【出題形式】選択式</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号1を参照。</p>	聞くこと	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>(1) 言語活動 ア 聞くこと (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。 (エ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又 は事項	科目名及び内容
<p>・与えられたアルファベットと単語の関係性から、<u>単語を類推し、書くことができる。</u></p>	<p>【設問数】 4 問程度 【出題形式】 短答式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>ウ 語, 連語及び慣用表現</p> <p>(ア) 1200 語程度の語</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・日本語の意味から、英語を類推し、<u>英文中の空欄を埋めて正しい英文を作ることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問程度 【出題形式】短答式</p>	書くこと	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>ウ 語，連語及び慣用表現</p> <p>(ア) 1200 語程度の語</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた日本語を理解し、指示に従って<u>英語を適切な形に変えることができる。</u></p>	<p>【設問数】4問程度 【出題形式】短答式、または選択式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>エ 文法事項</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・中学校で学習した文法を正しく理解し、<u>空欄を埋めて英文を完成させる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】4問程度 【出題形式】短答式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>エ 文法事項</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 150～200 語程度の英文を読み、<u>その内容を正しく理解することができる。</u></p>	<p>【設問数】4 問程度 【出題形式】選択式、 短答式</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号2を 参照。</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>ウ 読むこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。</p> <p>(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。</p> <p>(オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられた英単語を並べかえて、正しい英文を作ることができる</p> <p>※義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定する。</p>	<p>【設問数】4問程度</p> <p>【出題形式】短答式</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 言語活動</p> <p>エ 書くこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと</p> <p>(3) 言語材料</p> <p>エ 文法事項</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・与えられたイラストと、その場面を理解し、<u>適切な英文(15～25語)</u>を書くことができる。</p>	<p>【設問数】1問程度 【出題形式】記述式</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号3参照。</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>エ 書くこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力の 具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
<p>・ 与えられた場面設定を理解し、<u>状況に適した会話を発話</u>することができる</p>	<p>【設問数】 1 問程度 【出題形式】 スピーキング試験は実施せず。</p> <p>サンプル問題あり。 サンプル問題番号 4 を参照。</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>イ 話すこと</p> <p>(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。</p> <p>(エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。</p> <p>(オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:国語

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):2

出題科目	国語総合																																			
出題のポイント	国語の基礎学力の定着度合いを診断することを目的として、中学校「国語」の学習内容を含めて基礎学力(文学的文章)の定着度合いを確認するのがポイント。																																			
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問六</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問七</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一	○		問二	○		問三		○	問四		○	問五		○	問六	○		問七		○											
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																																		
問一	○																																			
問二	○																																			
問三		○																																		
問四		○																																		
問五		○																																		
問六	○																																			
問七		○																																		
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問六</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問七</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三			○	問四	○			問五	○			問六	○			問七	○					
小問番号	選択式	短答式	記述式																																	
問一	○																																			
問二	○																																			
問三			○																																	
問四	○																																			
問五	○																																			
問六	○																																			
問七	○																																			
主として問う技能(英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く																														
小問番号	聞く	読む	話す	書く																																
サンプル問題	別紙2参照																																			
解答例	問一 イ 問二 ア 問三 I 母の気弱な様子に不安を感じたから。(別解)死を覚悟した母の気持ちが悲しかったから。 II 母の気持ちを明るくしたかったから。(別解)その場の深刻さを紛らわそうとしたかったから。 問四 ア 問五 ウ 問六 イ 問七 イ																																			
(参考)学習指導要領の関連項目	国語総合C(1) ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。																																			

サンプル問題 1

現代文(評論)

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(25点)

上達ということと言うと、ある事柄がうまくなるときに、それだけがうまくなって終わりの人と、そのことを通じて上達力とでもいうべき応用の効く力が身につく人との違いがある。その上達力を身につけた人というのは、それ以外のことに對しても応用が効くので、次の事柄に向かったときの上達が早くなる。

たとえばある人が中学か高校の先生になって、好きな部活の指導をしたとする。自分は野球部の出身なので、とにかく野球を教えたい、というわけだ。だが、単に野球を教えるのと、野球を通じてその後一生生きていくために必要な上達の極意を伝えるのとは、違うことである。

厳しい練習をして、野球はうまくなったとする。しかし、生徒たちが社会に出たときに何か新しい課題を与えられて、五里霧中、頭は白紙という状態になるのでは、学校教育の中で野球をやった意味がちよっと少ない。鍛えられたのは指導にしたがう根性だけ、従順な心だけというのでは、ちよっとさみしい。

勉強や部活動を通して上達の普遍的な原則を相手に伝えるのだという意識を常に持っている人が、教育力のある人だと私は思う。

この生きていくために大切な上達力の基盤になるのが、真似る^{まね}力だ。「真似る」というのは、何となく「ひとまねこざる」のようで、もう一つ聞^きこえがよくない。だが実際には、この行為は人間が新しいことを獲得するときに、どうしても必要なことなのである。(中略)

全く誰からも学ばないで新しいことを始めるといことは、歴史上あまり例がない。天才といわれている人、モーツァルトにせよ、ピカソにせよ、どの領域の天才も、無から生み出す独創性があつたというよりも、学習速度がほかの人よりも速かつたということだと思う。

かなり速い速度でほかのものを吸収してしまうと、それらを組み合わせる自分のスタイルをつくっていくことができる、ということなのである。だから、学習のプロセスとしては、^①まずはそこまでにあるいろいろなものを真似して吸収する。その上で、それらをアレンジして自分なりのものを提示する。^②これは普遍的な原則だと思う。

A クリエイティビティ(創造性)ということに関して、全く人のものを見ないで、影響を受けなくて自分の内側から湧き

出るものに耳を傾けるといいものができるといふような、根拠のない幻想が広まってしまったので、模倣力というものが軽んじられてきた。

たとえば復唱方式で、寺子屋のように先生が上手に『論語』等を読んで、子どもたちが日本語らしく復唱するということは、これはすでに真似る力だ。^③英語でも日本語でも音読を聞くと、区切り方で、その人が意味を理解しているのかどうか、ということともわかる。

谷崎潤一郎の『春琴抄』は日本語として完成度の高いものだ。その『春琴抄』の場合は、点や丸が文章にほとんどない。だから切れ目がかかわからない。一文が一ページぐらい続いたりする。

日本語のわかっている人にとっては、句読点はないけれども、ああここで実際には切れているんだということはわかる。それを初見（初めて見た状態）ですらすらと音読できたとする。そうするとその人は、明らかに日本語の能力が高いということになる。だが、子どもたちにそれを読ませると、大学生でもそうだが、つかえつつかえになつて変なイントネーションになる。そういう変な読み方をしている場合は、どこで文章が終わるのか、予測力がないのだ。文章の構造が身につけていないから、ここで終わるといふ予測ができない。

この訓練のために、まず先生が上手に読んでみせる。続いて子どもたちがそれを復唱する。口伝えだ。口伝のようなものである。

かつては能の芸など、世阿弥が言うように「ほかの家に芸の秘密が漏れたら、終わりだ」という考えだった。B、世阿弥の『風姿花伝』とか『花鏡』が出てきたのは最近——明治末期——のことなのである。それまでは門外不出の秘伝の書だった。このように、大切なことは言葉にせよ技にせよ、身体から身体へ伝えるということを前提にした教育方法で伝えられてきた。それがむしろ日本の文化の主流だったのである。

一対一で行われる、高い集中力の場合が修業の場、厳しい雰囲気を生んでいた。そのような空間で初めて伝えられるものがあつた。かつては身体から身体へ伝えていく教育方法があつた。

しかし考えてみると、人の口から出たイントネーションをそのまま真似てみる、そのことによつて自分のなかに文化的な内容を吸収させていく——これは別に能の世界に限らず、一般的に行われていることでもある。

四 現代文(小説)

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(25点)

バブルの崩壊で会社を失い、妻(英子)とも別れてしまった城所安男(愛称「ヤッちゃん」)は、重度の心臓病を患う母を救うため、奇跡を起こすという心臓外科医のいる病院まで、母を乗せて百マイル(約百六十キロ)をドライブすることを決意する。彼は、多くの人々の善意に支えられて病院に到着し、ついに手術の日の朝を迎える。

安男は荒れ狂う海を見た。高波は揉み合いながら盛り上がり、獣のように双手をかざして汀に碎け散った。突堤はすでに波に洗われている。水平線にわだかまる黒雲は、嵐の精のすみかなのだろうか。空は暗く低く、息もつがずに唸り続けていた。

①「兄貴たちも、もうじき着くって」

安男の嘘を、母は目を閉じて受け止めた。たぶん、信じはしないだろう。

②「時間が早いからねえ。きつと間に合わないだろうけど、いいよ。目が覚めたら、ゆつくり会えるし」
そうじゃないだろう、おかあちゃん。

このまま永遠に目が覚めないかもしれないって、考えているんじゃないのか。

「ねえ、ヤッちゃん。おにいちゃんたちに会ったら、伝えて。ひとりずつ、そつと」

③「何だよ、遺言か」

安男は泣きながら笑った。

「高男には、社長さんになれって。おまえならなれるって。秀男には、ここに負けないぐらいの大きな病院を建てて、院長さんになれって。おまえならできるって。優子には、頭取夫人になれって。秋元さんなら、きつとなれるよって」

④「もういいよ、おかあちゃん。もういい、もういい。そんなに偉くなってどうするんだ」

「誰にも負けてほしくないんだよ。六畳のちゃぶ台で輪になって勉強してたあの子たちだから、誰にも負けちゃいけないんだ。立派な机を持って、塾に通ってた子供たちに、負けちゃだめなんだ」

「負けやしないよ。大丈夫だって」

「おかあちゃん、精いっぱいだったの。ごはんを食べさせるだけで、何ひとつしてあげられなかったでしょ。ごめんねって、みんなに言つてよ。きつと、みんなおかあちゃんのことを憎んでるんだ。辛い思いをさせて、ひどい苦勞もさせちゃって。だからみんな、もうおかあちゃんの顔なんて、見たくないんだよ」

「やめろよ、おふくろ」

突然に崩れた母の顔を、安男は胸の中に抱きしめた。母は顎を軋ませ、声を殺して泣いた。

「それから……英子さんに」

「英子に？」

⑤「大金持ちの社長夫人になれて。あんたならできるって、言つてあげて。もういちど……もういちど……いいね、ヤッちゃん。もういちど……おまえなら、できるよ……」

母は眠ってしまった。軽いいびきを聞きながら、安男は母の乾いた顔を抱き続けた。

嵐が空を真黒に染めてにじり寄ってくる。海鳴りは猛々しい咆哮に変わった。

もういちど目覚めてほしい。自身の偉大さに気付かぬまま、人生を悔い続け、おのれを責め続けて死んでほしくはない。

母は父に死なれたそのとたんから、虹を追って走つたのだと安男は思った。まっすぐに、わき目もふらず、空の彼方にかかった七色の虹を追って。永遠にたどりつくはずのない、いやこの世に有りうべくもない、としての人生を追って。

「城所さあん、行きますよ」

*ストレッチャーが病室に運ばれてきた。

「眠っちゃいましたけど」

人形のような母の体が、若い看護婦たちの手でストレッチャーに移された。老婦長が安男の背中を押した。

「ついて行って。声は聴こえてるはずですから」

長い廊下を、安男は母の名を呼びながら歩いた。

何も見えず、何も聴こえなかった。ただ、四十年前の冬の日、この小さな体から自分は生まれ出たのだと思った。

「おかあちゃん。死ぬなよ。死んじやいやだ。話したいことがたくさんあるんだ。聞いてほしいことも、聞きたいことも、たくさんあるんだから。なあ、おかあちゃん、死ぬなよ」

母はわずかに^{まな}瞼をもたげて、安男の手を握り返してくれた。

「兄貴たちは、おかあちゃんのことを恨んでなんかいないよ。みんなおかあちゃんのこと、大好きだよ。^⑥偉くなりすぎたから、大勢の人に頼られて、ものすごく忙しいんだ。俺だけバカだから、こうして付いてやる時間があるんだよ。死ぬなよ、おかあちゃん。兄貴たちを泣かせるなよ。何もしてあげられなかったって、兄貴たちを泣かせないでくれよ。なあ、おかあちゃん」

手術センターの廊下を、ストレッチャーは舟のように滑って行く。

観音開きの扉が、ひとつずつ、見知らぬ世界の蓋を開く。

（浅田次郎『天国までの百マイル』）

（注） *バブルの崩壊 一九八六年から一九九一年にかけて、投機によって地価や株価が異常に上昇した。バブル（泡）にたとえられたこの状況は、最後はまたたく間に終わりを告げた。

*ストレッチャー 患者などを運ぶ車輪のついた移動寝台。

*看護婦 看護師の以前の呼び名。

問一 傍線部①「兄貴たちも、もうじき着くって」とあるが、安男のこのような「嘘」は、どのような意図を含んでいると考えられるか。最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 頑張つて手術を乗り越えれば、子供たちに会えるのだという希望を母に伝えようとした。

イ 母の心の負担を少しでも減らすことで、手術を乗り切る気力をもたせようとした。

ウ 兄弟が集まらねばならないほどの重大な手術なのだ、母親に確認させようとした。

エ 手術に臨む母親に、母を思う子供たちがほかにもいることを思い出させようとした。

問二 傍線部②「きっと間に合わないだろう」とあるが、母がこのように言った背景にある心理としては不適切なものを次の中から一つ選び、符号で答えなさい。

ア 手術の時間が早朝なので子供たちに会えない不満を、安男にそれとなく訴えている。

イ 子供たちが来ないだろうことはわかっていると、安男に対して間接的に表現している。

ウ 兄弟の不在を気づかう安男に調子を合わせて、自分に対する思いやりに応えている。

エ 万が一のことがあって、二度と子供たちと会えなくなる可能性もあると考えている。

問三 思考力・判断力・表現力 傍線部③「安男は泣きながら笑った」とあるが、Ⅰ「泣きながら」Ⅱ「笑った」の理由を、それぞれ二十字以内で簡潔に答えなさい。（句読点も字数に含める）

問四 傍線部④「誰にも負けてほしくないんだよ」とあるが、このように言う母の心の中にあるのは、どのような思いだと考えられるか。最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 母親として、子供に多くのことはしてやれなかったという自責の念。

イ 優秀な子供たちをもつことよってのみ満たされる、親としての誇り。

ウ 子供が社会的に成功することに対する、ほとんど病的なまでの執着心。

エ 所有するお金の量では人の価値は決まらないのだという、強固な信念。

問五 傍線部⑤「大金持ちの社長夫人になれ」とあるが、母が安男に、英子へのこのような伝言を頼んだのはなぜだと考えられるか。最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 安男のことは完全に忘れて、お金持ちの人と再婚して欲しいと思っているから。

イ 英子には、自立して会社を起し立派な社会人になることを期待しているから。

ウ 英子に、安男との生活をやり直して幸せになってもらいたいと思っっているから。

エ 安男の描いた夢を現実のものにできるのは、英子以外にないと考えているから。

問六 空欄部を補う言葉として最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 理想の女性 イ 完全なる母 ウ 豊かな妻 エ 永遠の恋人

問七 傍線部⑥「偉くなりすぎたから、大勢の人に頼られて、ものすごく忙しいんだ」とあるが、この言葉から読み取れる安男の気持ちとして最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 母の恩を忘れて尊大な態度をとる兄弟たちをそれとなく皮肉りながら、もう今では母親の命よりも大切なものがそれぞれにできたのだと示唆しようとしている。

イ 母が自分たち兄弟を立派に育ててくれたことに感謝する気持ちを伝えると同時に、兄弟たちの振る舞いを弁護して、母の気持ちを慰めようとしている。

ウ 兄弟が皆、他人からの信頼を得ることができるようになったのは、母親の教育のおかげであることを確認しつつ、母親が冷静になるよう諭そうとしている。

エ 兄弟たちが母親の手術に際しても面会に来ないでいることに激怒し、母親の立場に立つことによって彼らの親不孝を糾弾しようとしている。

問五 傍線部④「そのようにして学ぶ人」とあるが、どのように学ぶ人のことか。最も適切なものを次の中から選び、符号で答えなさい。

ア 能の世界の教育方法を真似して、秘伝の技を直接教えてもらおうとする人。

イ ほかの人の行動や言葉を真似して、その内容や意味を吸収しようとする人。

ウ 厳しい修業に取り組み、身体を極限にまで追いつめて神髄を得ようとする人。

エ むだな時間を過ごさず、常に緊張して周囲の様子に気を配ろうとする人。

問六 本文の内容と合致しているものを次の中から一つ選び、符号で答えなさい。

ア モーツァルトやピカソといった天才たちは、自分の内側から湧き出るものを作品としてつくりあげた。

イ かつての寺子屋のような復唱方式で学ぶという形式の教育は、現在の日常生活では役に立たない。

ウ 日本文化は、主に身体から身体へ伝えていくという教育方法によって伝承されてきたと考えられる。

エ 一対一で行われる、高い集中力を伴った修業の場で学ばないと、応用の効く上達力はのぞめない。

(様式5)

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース 高1 第3回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):1

出題科目	数学 I																
出題のポイント	日常的な事象について，問題文から読み取った情報を1次不等式に表すことにより，考察を行い，その結果を用いて，当該事象について数学的に説明することができるかをみる。																
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>3</td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	1	○		2		○	3		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等															
1	○																
2		○															
3		○															
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>3</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	1		○		2			○	3			○
小問番号	選択式	短答式	記述式														
1		○															
2			○														
3			○														
サンプル問題1	<p>1回に900kgの重さまで運ぶことのできるエレベーターがある。このエレベーターを使って，1個50kgの荷物を2人で何個か運びたい。荷物を運ぶ2人の体重の合計が130kgであるものとして，次の問いに答えなさい。ただし，荷物を運ぶ2人もエレベーターに乗り込むものとする。</p> <p>(1) 1回にx個の荷物を運ぶとき，全体の重さをxを用いた式で表しなさい。</p> <p>(2) 1回に最大で何個の荷物を運ぶことができますか。(1)を利用して，不等式をつくって求めなさい。</p> <p>(3) この荷物が100個あるとき，すべての荷物を運ぶためには最低何回かかるかを，Aさんは6回かかる予想しました。この予想について，Aさんの予想は正しいかどうか，その理由を数式や言葉を使って説明しなさい。</p>																

<p>解答例</p>	<p>(1) $50x+130$ (kg)</p> <p>(2) $50x+130\leq 900$ を解いて, $x\leq 77/5$ ($=15.4$) この不等式を満たす最大の整数は 15 だから, 15 個。</p> <p>(3) n 回かかるとすると, $15n\geq 100$, $n\geq 20/3$ この不等式を満たす最小の整数は 7 だから, 最低 7 回かかるので, A さんの予想は正しくない。</p> <p>〔(3)の解答容認例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● $100\div 15=6$ 余り 10 ($100\div 15=6.6\cdots$) あまりの 10 個を含めて, $6+1=7$ (回) かかるので, A さんの予想は正しくない ● $100\div 6=16$ 余り 4 ($100\div 6=16.6\cdots$) >15 1 回に運ぶことができる重さをこえているので, 6 回では全部の荷物を運びきれない。 よって, A さんの予想は正しくない。 <p>〔(3)の誤答例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ● n 回かかるとすると, $15n\geq 100$, $n\geq 20/3$ ($=6.6\cdots$) よって, 6 回で正しい。 ● $100\div 15=6$ 余り 10 ($100\div 6=16.6\cdots$) よって, 6 回で正しい。 ● 正しいか正しくないかの記述がない。
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>数学 I</p> <p>(1) 数と式 イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し, 一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース 高1 第3回

対象教科:数学

測定内容の区分:基本タイプ

サンプル問題番号(大問番号):2

出題科目	中学校数学, 数学 I																								
出題のポイント	正の数と負の数について理解し, その四則計算ができるかをみる。 文字を用いた式の計算ができるかをみる。 単項式の乗法, 除法の計算ができるかをみる。 数学 I 範囲の文字を用いた式の展開ができるかをみる。 循環小数を分数で表すことができるかをみる。																								
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	1	○		2	○		3	○		4	○		5	○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																							
1	○																								
2	○																								
3	○																								
4	○																								
5	○																								
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>2</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>3</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>4</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>5</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	1		○		2		○		3		○		4		○		5		○	
小問番号	選択式	短答式	記述式																						
1		○																							
2		○																							
3		○																							
4		○																							
5		○																							
サンプル問題2	次の各問いに答えなさい。 (1) $-4 + \{5 + (-2)^3\}$ を計算しなさい。 (2) $3(2x^2 - 4x + 7) - 2(x^2 - 3x + 5)$ を計算しなさい。 (3) $8a^5b^7 \times 3ab^2 \div (-6a^2b^3)$ を計算しなさい。 (4) $(5x - 9)(3x^2 - x + 3)$ を展開しなさい。 (5) 循環小数 $0.\overline{27}$ を分数で表しなさい。																								
解答例	(1) -7 (2) $4x^2 - 6x + 11$ (3) $-4a^4b^6$ (4) $15x^3 - 32x^2 + 24x - 27$ (5) $3/11$																								

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕</p> <p>A 数と式</p> <p>(1) 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。</p> <p>ア 正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。</p> <p>イ 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解すること。</p> <p>ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。</p> <p>中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕</p> <p>A 数と式</p> <p>(1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。</p> <p>ア 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすること。</p> <p>数学 I</p> <p>(1) 数と式</p> <p>数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数</p> <p>数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>イ 式</p> <p>(イ) 式の展開と因数分解</p> <p>二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p>
---------------------------------------	--

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:英語

測定内容の区分:

サンプル問題番号(大問番号):1

出題科目	コミュニケーション英語 I																							
出題のポイント	英語の「聞くこと」に関する基礎的な技能の定着度合いを調べるのが目的。主に中学校学習指導要領に示される言語材料を用いた英文を聞き取り、その英文を理解し、正しく応答する能力の定着度合いを測定するのが目的である。																							
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○															
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
(1)	○																							
(2)	○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○													
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
(1)	○																							
(2)	○																							
主として問う技能(英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	(1)	○				(2)	○											
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
(1)	○																							
(2)	○																							
サンプル問題	1 放送される英文を聞いて、その応答として最も適切なものを下から1つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ選択肢を2度以上使わないこと。全てを同じ記号で答えたものは0点とする。 (1) (放送される英文) Hello, is Mr. Tanaka there? (2) (放送される英文) How far is it from here to the station? 選択肢 ア. Speaking. イ. It's ten minutes' walk. ウ. You're welcome. エ. I think he is kind. オ. I don't use that station.																							
解答例	(1) ア (2) イ																							
(参考)学習指導要領の関連項目	2 内容 中学校 英語 学習指導要領より (1) 言語活動 ア 聞くこと																							

- (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。
- (エ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。

高等学校 コミュニケーション英語Ⅰ 学習指導要領より

2 内容

- (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする

サンプル問題について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:英語

測定内容の区分:

サンプル問題番号(大問番号):2

出題科目	コミュニケーション英語 I				
出題のポイント	英語の「読むこと」に関する技能の定着度合いを調べることを目的。中学校「英語」および高校「コミュニケーション英語 I」の内容を含めた 150～200 語程度の説明文や物語文などの英文を読み、基礎学力の定着度合いを測定する。				
主として問う能力	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		
	(問 1)		○		
出題形式	小問番号	選択式	短答式	記述式	
	(問 1)	○			
主として問う技能(英語のみ)	小問番号	聞く	読む	話す	書く
	(問 1)		○		
サンプル問題	<p>2 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。</p> <p>Mrs. Thompson was driving her car. She looked in the rearview mirror. A blue car was behind her. A man was driving the blue car.</p> <p>①<u>The man in the blue car waved at Mrs. Thompson.</u> He was saying something, but Mrs. Thompson couldn't hear him. Mrs. Thompson turned right. The man in the blue car turned right, too. Mrs. Thompson drove fast. The man in the blue car drove fast too.</p> <p>Mrs. Thompson was afraid of the man in the blue car. She drove to the police station. The man in the blue car followed her. Mrs. Thompson arrived at the police station and stopped her car. The police officer said, "There's a cat on the top of your car!"</p> <p>Mrs. Thompson's cat was on the top of her car. The cat was very afraid. Mrs. Thompson looked for the man in the blue car, but couldn't find him. Now Mrs. Thompson understood why the man in the blue car waved at her.</p> <p>問 1 下線部(1)で、青い車の男はなぜトンプソンさんに手を振ったのか、最も適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。</p> <p>ア. Because he is Mrs. Thompson's friend.</p> <p>イ. Because he wanted to race with Mrs. Thompson.</p> <p>ウ. Because he wanted to tell Mrs. Thompson about her cat.</p>				

	エ. Because he wanted to tell Mrs. Thompson to go to the police.
解答例	(問1) ウ
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>ウ 読むこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。</p> <p>(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。</p> <p>(オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:学研アソシエ
測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース
対象教科:英語
測定内容の区分:
サンプル問題番号:3

出題科目	コミュニケーション英語 I																							
出題のポイント	英語の「書くこと」に関する基礎的な技能の定着度合いを調べることを目的。中学校「英語」および高校「コミュニケーション英語 I」の学習によって身に着けた知識を活用し、情報を英文で説明する能力の定着度合いを測定するのが目的である。																							
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○																	
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
		○																						
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式				○															
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
			○																					
主として問う技能(英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く					○													
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
				○																				
サンプル問題	<p>3 次のイラストは、メアリー(Mary)が来週の日曜日にかれる自分が出演するコンサートのチケットをトム(Tom)に渡そうとしているところを表したものです。しかし、その日トムはコンサートを聴きに行くことができません。あなたはトムがどのようにメアリーに返事をすると考えますか。トムがコンサートを聴きにいけない理由を自由に想像して、15~25語の英語で書きなさい。英文は2文以上になっても構いません。</p> 																							
解答例	<p><解答例 1 > I'm sorry I can't go to the concert because I have to stay at home next Sunday. (17 語)</p>																							

	<p><解答例 2></p> <p>I will have a soccer game next Sunday. So I can't go to the concert. Sorry. (16 語)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題の意味を理解し，それに対し適切に答えられることを確認する。 ・「コンサートに行けない」という断りの文と，その理由が書けていることを確認する。 <p><採点の条件></p> <p>① 「(コンサートを見に行くことが) できない」と伝えている。</p> <p>② 行けない理由を伝えている。</p> <p>①・②の両方を満たしているものを正答とする。</p> <p>・15 語未満もしくは 25 語以上であっても，条件②の内容が含まれていれば部分点を与える。</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>中学校 英語 学習指導要領より</p> <p>エ 書くこと</p> <p>(ア) 文字や符号を識別し，語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より</p> <p>2 内容</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:学研アソシエ

測定ツール名:基礎力測定診断 ベーシックコース

対象教科:英語

測定内容の区分:

サンプル問題番号(大問番号):4

出題科目	コミュニケーション英語 I																							
出題のポイント	英語の「話すこと」に関する基礎的な技能の定着度合いを調べることを目的。中学校「英語」および高校「コミュニケーション英語 I」の学習によって身に着けた知識を活用し、与えられた場面設定(日常で起こり得る状況設定にする)を理解し、状況に適した会話を発話する能力の定着度合いを測定するのが目的である。																							
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			○																	
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
		○																						
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式																			
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
※「話すこと」に関する口頭式の出題のため、上記の「選択式」「担当式」「記述式」には当てはまらない。																								
主として問う技能(英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く				○														
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
			○																					
サンプル問題	4 次の問いに答えなさい。 問い あなたのクラスにアメリカからの交換留学生エミリーがやってきます。そこで、クラスで話し合いを行い、1人1か所ずつ「あなたが好きな場所」をビデオメッセージで紹介することになりました。あなたならどこを紹介しますか。好きな場所とその理由を答えなさい。																							
解答例	I like Ueno zoo because I can see some pandas there. .<採点の条件> ①「好きな場所」と「その場所が好きな理由」が話せている。 ②設問とは無関係の内容を話している場合は採点対象外とする。																							
(参考)学習指導要領の関連項目	中学校 英語 学習指導要領より イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。																							

(オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。

高等学校 コミュニケーション英語 I 学習指導要領より

2 内容

(2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。